

令和7年12月16日

報道機関各位

熊本大学

在福岡米国領事館 ヴァーサ・パーキンス主席領事の  
表敬訪問について

このたび、在福岡米国領事館のヴァーサ・パーキンス主席領事一行が熊本大学を表敬訪問されることとなりました。下記の日程で実施いたしますので、当日の取材、報道方よろしくお願いいたします。なお、取材ご希望の方は事前にお申し込みいただきますようお願いいたします。

記

1. 日時：令和7年12月18日（木）10：10～11：00

2. 場所：熊本大学事務局2階 学長室

3. 出席者

【在福岡米国領事館】

(※)下線部が姓

ヴァーサ・パーキンス 主席領事

Ms. Virsa Perkins, Principal Officer, U.S. Consulate Fukuoka

ロブ・フォース 政治経済部担当領事

Mr. Rob Force, Political and Economic Officer, U.S. Consulate Fukuoka

植村 和浩 氏 政治経済部 スタッフ

長井 輝美 氏 政治経済部 スタッフ

【熊本大学】

小川 久雄 熊本大学長

井原 敏博 大学院自然科学研究部長／工学部長

喜多 敏博 情報融合学環 副学環長

連川 貞弘 半導体・デジタル研究教育機構 副機構長

4. 主席領事略歴

<https://jp.usembassy.gov/virsa-perkins-fukuoka-principal-officer/>

5. 経緯

ヴァーサ・パーキンス主席領事が、チュカ・アシーケ氏の後任として着任されたことから、本学にご挨拶のため来学されることとなりました。

熊本大学は、在福岡米国領事館をはじめ、米国の大学・財団・学生団体等と連携し、日米間の教育・研究・人的交流を推進しています。在福岡米国領事館との連携により、日本の大学として初めて支援を受ける米国政府支援プログラム「English Language Specialist Program」を活用した**半導体・DX 分野の英語教育強化**に取り組んでいます。さらに、令和6年度には駐日米国大使が本学を訪問し情報融合学環の学生と交流を図ったことや情報融合学環の1年次から3年次までの独自の留学プログラム構築のために協力を得る等、様々な面でサポートを受け、グローバル人材教育を進めています。

また、先日、米国を代表するグローバル企業である Google と連携し、本学および熊本地域で「くまもとサイバーセキュリティカンファレンス」を設立しました。あわせて、Google による情報融合学環向け特別講義の提供などを通じ、サイバーセキュリティ人材育成に取り組んでいます。

さらに、**マンスフィールド財団**とは、日米相互理解の促進を目的に、米国政府職員等の受入れや公開セミナーの開催など、長年にわたる交流を継続しています。本年8月には**日米学生会議**においては、学生同士の対話と相互理解を重視した交流の場を提供し、次世代を担う若者の国際的視野の醸成に貢献しました。

熊本大学は、今後も、半導体分野をはじめとするさまざまな分野において、米国との交流が一層深まることを期待しています。

6. 使用言語：英語（表敬訪問時の通訳はご用意しておりませんので、あらかじめご了承ください。）

#### 【取材について】

表敬訪問の冒頭 10 分間のみ、取材・撮影が可能です。

#### 【取材申込方法】

12月17日（水）午前中までに以下の情報をメールにてご連絡ください。

- （1）貴社名
- （2）出席予定者数
- （3）お車でお越しの場合は台数をお知らせください。

受付の際に駐車券をご提示いただければ無料券をお渡しいたします。

メール宛先 [gji-kikaku@jimu.kumamoto-u.ac.jp](mailto:gji-kikaku@jimu.kumamoto-u.ac.jp)

【その他】受付時にお名刺を提出ください。

#### 【お問い合わせ先】

熊本大学経営企画本部国際事業戦略チーム  
担当：薄葉、石川

TEL：096-342-2101

Email：[gji-kikaku@jimu.kumamoto-u.ac.jp](mailto:gji-kikaku@jimu.kumamoto-u.ac.jp)